

様式第3 (第6条関係)

特定施設の種類ごとの数変更届出書

令和〇〇年△△月□□日

川口市長殿

氏名又は名称及び住所
届出者 並びに法人にあつては
その代表者の氏名

〇〇県〇〇市〇〇-△△-△△
□□金属加工 株式会社
代表取締役 □□ 〇〇
(電話番号 〇〇〇-△△△-□□□□)

騒音規制法第8条第1項の規定により、特定施設の種類ごとの数の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	□□金属加工株式会社 △△工場		※整理番号					
工場又は事業場の所在地	川口市〇〇-△△-□□		※受理年月日		年 月 日			
			※施設番号					
			※審査結果					
			※備考					
特定施設の種類 ^{備考2}	型式	公称能力	数		使用開始時刻		使用終了時刻	
			変更前	変更後	変更前(時分)	変更後(時分)	変更前(時分)	変更後(時分)
1-ニ 液圧プレス	〇〇社製 △△-××	〇〇kN	2	1	8:30	8:30	17:30	19:00
この枠に書ききれない場合 別紙2に記載	公称能力の単位	機械・液圧プレス	〇〇kN		使用する可能性がある 最長の使用時間を記載			
		鍛造機	△△t					
		それ以外	□□kW					
特定施設の種類等を記載する際は、別紙2も参照してください								

備考 1 特定施設の種類ごとの数に変更がある場合であっても、法第8条第1項ただし書の規定により届出を要しないこととされるときは、当該特定施設の種類については、記載しないこと。

2 特定施設の種類の欄には、騒音規制法施行令別表第1に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。

3 ※印の欄には、記載しないこと。

4 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

同じ施設であっても騒音と振動で「特定施設の種類」の記載内容が異なる場合がありますので注意してください。

	騒音規制法	振動規制法
例1	1-ホ 機械プレス	1-ロ 機械プレス
例2	2 空気圧縮機	2 圧縮機

騒音の防止の方法

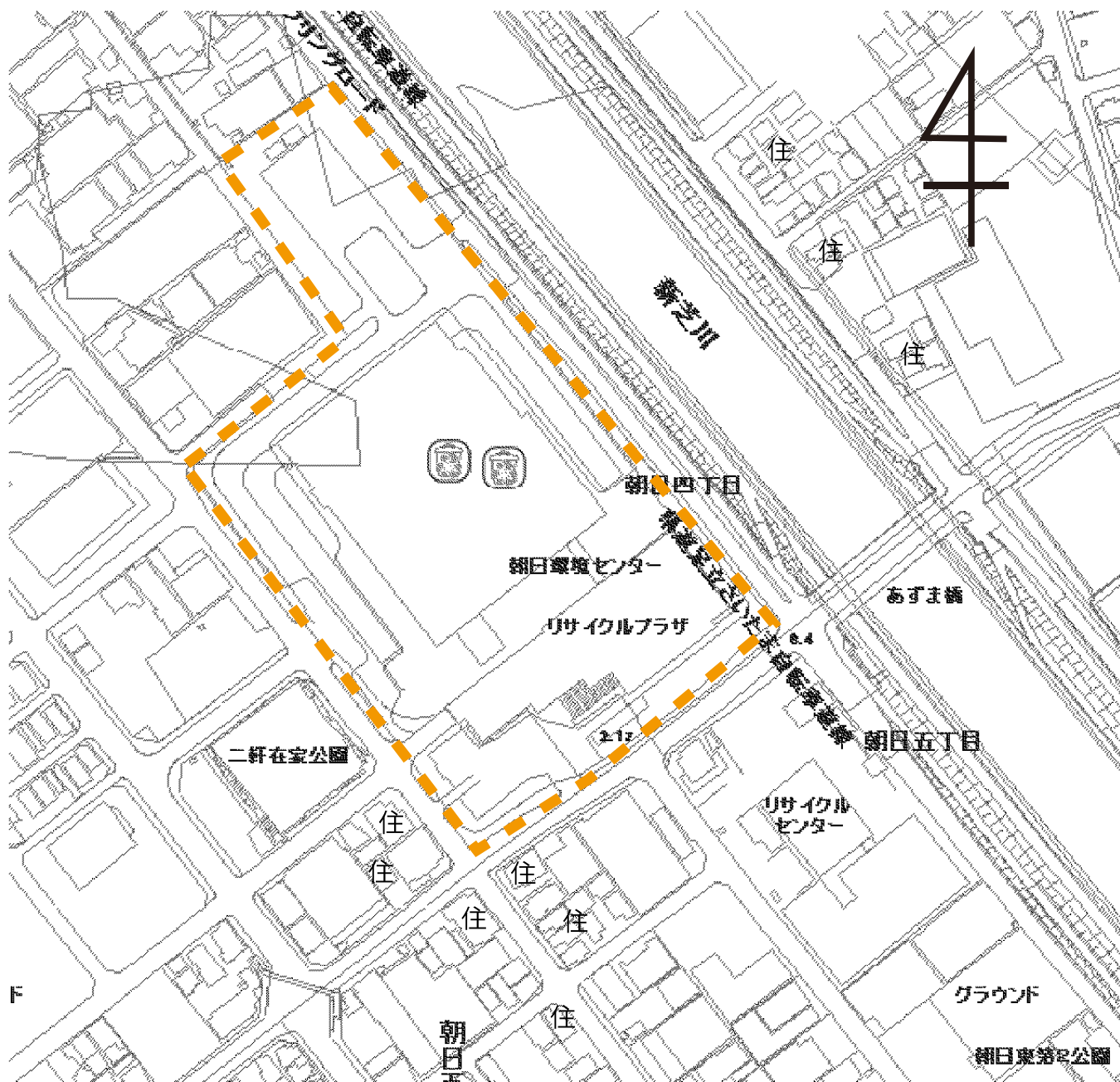
機械・液圧プレス騒音防止について

1. 敷地境界線から〇〇cm以上距離を確保する。
2. 建物の外壁の材質を〇〇側は△△材を使用する。
また、窓は必要最低限の面積とし防音に配慮する。
3. 機械・液圧プレス使用時にはシャッターを閉鎖する。

空気圧縮機の騒音防止について

1. 敷地境界線から〇〇cm以上距離を確保した機械室に
設置する。
2. 機械室の外壁の材質については△△材を使用する。
3. 低騒音型のスクルーコンプレッサーを導入する。

付近の見取図



敷地境界と周辺環境（施設周辺の建物の用途）を明記

特定施設の配置図

